

第15期

報告書

2023年4月 1日から
2024年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

2023年度事業報告書

当会が一般財団法人として発足し15年が経過した。

国内においては、2022年度から設置した全日本総合選手権U15（中学生）の部の需要が、2023年度も引き続き高く、学校部活動の外部委託の流れとも重なり、大幅な競技者登録の増加が続いた。

海外においては、マルチボール種目でのアジア予選へ選手団を派遣し、女子カテゴリー優勝を始め、参加全カテゴリーで3位以内入賞の成果を上げた。

財政面では、急速な経済活動回復に伴う価格高騰の影響が継続した。

国内事業における旅費宿泊費を始めとした全般的な価格上昇、海外事業でも円安の状態が続き、いずれも一時的な現象にとどまらない可能性も高いため、会費の値上げ等の検討を進めた。

なお、活動回復に合わせて、これまで以上にガバナンス体制の整備・コンプライアンス意識の向上が急務となっている。2024年度には担当委員会の充実と共に、横断的な計画として盛り込むこととした。

1. 全国競技会

2022年度に続き、年度当初の計画どおりに4つの全国大会を開催した。感染症対策においても、通常どおりの運営体制に回復した。

①小学生：全国小学生ドッジボール選手権（夏・春）

夏は水戸市での6年連続開催の5年目（2020年はコロナ禍により中止）、春は初の福岡市にて開催した。

概要		
	第32回夏の全国小学生ドッジボール選手権	第33回春の全国小学生ドッジボール選手権
日 時	2023年8月20日（日）	2024年3月31日（日）
会 場	アダストリアみとアリーナ 〒310-0034 茨城県水戸市緑町2丁目3-10	福岡市総合体育館 〒813-0017 福岡市東区香椎照葉六丁目1番1号
助成団体	水戸市	 スポーツ振興基金助成事業 独立行政法人日本スポーツ振興センター
協 賛	(公社) 糖業協会	
特別協力	ミズノ（株）	
協 力	(株)ミカサ、(株)モルテン、 (株)共同写真企画、(株)プロフォートサニー、 近畿日本ツーリスト(株)、(株)フィス、 (株)アンフィニプロジェクト、ヤマダイ(株)、 JA水戸、(株)東横イン、(株)桃の館、 イトウ製菓(株)、(株)伊藤園、(有)煎餅屋仙七	(株)ミカサ、(株)モルテン、(株)共同写真企画、 (株)プロフォートサニー、(株)フィス、 近畿日本ツーリスト(株)、 (株)アンフィニプロジェクト、(株)東横イン、 (株)プレナス、(株)愛しとーと、 (株)オーシャンプロテック、(株)ふくれん、 (株)桃の館、(有)クサカベロジテック
参加 チー ム ・ 人 数	青森・秋田・山形の各県を除く44都道府県予選 代表小学生男女46チーム（D-1） 選手 小学3～6年生男女 814名 指導者 129名 審判員／スタッフ 200名	青森・秋田・山形の各県を除く44都道府県代用小 学生男女48チーム（D-1） 選手 小学生3～6年男女 827名 指導者 138名 審判／スタッフ 200名
成績	優 勝 埼玉フォルティス（埼玉県） 準優勝 サザン'97（愛知県） 第三位 パワフルジュニア（奈良県） DOKKY'S（静岡県）	優 勝 Soul West（愛知県） 準優勝 埼玉フォルティス（埼玉県） 第三位 DOKKY'S（静岡県） 高蔵パワードリーム（福岡県）



②中学生～社会人：J. D. B. A. 全日本総合選手権

久々の大阪府での全国大会開催となった。（全日本総合選手権としては初開催）

中学生の登録が明らかに増加しており、この傾向は今後も続くと判断したことから、U15の部に関しては計画段階から4枠増加し20チームとした。

概要	
	2023J. D. B. A. 全日本総合選手権
日 時	2023年10月1日(日) 9:00～17:00 (30日は設営・マルチボール体験会・指導者研修会)
会 場	おおきにアリーナ舞洲 〒554-0042 大阪市此花区北港緑地2-2-15 TEL 06-6460-1811
協賛	大阪厚生信用金庫
協 力	ミズノ株式会社、株式会社モルテン、株式会社ミカサ、株式会社共同写真企画、株式会社プロフォートサニー、株式会社フィス、株式会社アンフィニプロジェクト、株式会社東横イン、株式会社日本ツーリスト、滋賀県農業協同組合中央会
参加 チ ム 人 数	ファイターの部 北海道から九州までの9ブロック代表32チーム（中学生～社会人男女） U15の部 東北から九州までの8ブロック代表 20チーム（中学生男女のみ） 選手・指導者 711名 審判員・スタッフ 120名
成績	ファイターの部 (S-1) 優 勝 Vegaes0³（関東ブロック代表） 準優勝 くらわんか（関西ブロック代表） 第三位 RED☆MAX（関東ブロック代表） southern97と救世主（東海ブロック代表） U15の部 (S-1) 優 勝 M!Ryan（東海ブロック代表） 準優勝 HATSUキュン廿日市（中国ブロック代表） 第三位 Victory（関東ブロック代表） Feujon Jr（東海ブロック代表）

本大会の前日には、設営と並行して、指導者を対象とした研修会や、地元小学生へのマルチボール体験会を行うなど、久々の関西開催の機会を活用した事業も実施した。

10月に入りても高温が続いたことにより、空調等の予定外の経費も発生したが、大会運営においては、大阪府協会を始め関西ブロック連絡会の協力を得ることができ、滞りなく開催できた。



③小学生～社会人女子：女子総合ドッジボール選手権

石川県協会及び北信越ブロックの運営協力を得て、本大会としては初めて金沢市にて開催した。
小学生～社会人までの女子チームの全国大会という機会を活用し、女性アスリートへ向けた情報提供の場を設ける等、いくつかの試みも行った。

概要	
	第10回全日本女子総合ドッジボール選手権
日 時	2023年12月3日(日) (2日設営)
会 場	いしかわ総合スポーツセンター 〒920-0355 石川県金沢市稚日野町北222番地 TEL. 076-268-2222
助成団体	(公財) スポーツ安全協会
協 力	金沢文化スポーツコミッショナ、ミズノ(株)、(株)ミカサ、(株)モルテン、 (株)共同写真企画、(株)プロフォートサニー、近畿日本ツーリスト(株)、 (株)フィス、(株)アンフィニプロジェクト、(株)東横イン
参加 チー ム 人 数	D-1G(女子小学生)の部 32チーム ／ S-1G(中学生～社会人女子) の部 20チーム 選手・指導者 847名 審判員・スタッフ等 230名
成績	<p>シニア女子の部(S-1G) 優 勝 のーんき(東海ブロック/愛知県) 準優勝 岡田なでしこJAPAN (関西ブロック/奈良県) 第三位 OVER DRIVE (関東ブロック/千葉県) Reboot (関東ブロック/東京都)</p> <p>D-1Gの部 優 勝 Fillies (静岡県) 準優勝 Little Amaterasu (島根県) 第三位 EMPRESS (茨城県) SUPER PEACH かぐや姫 (長崎県)</p>



2. 競技委員会

主催大会では競技運営を円滑に行うと共に、ルールの徹底、審判員の資質向上のため諸施策を実行した。常任委員会では審判員育成課題等、競技全般に関する情報交換、研究、検討を行った他、全国大会時には審判員クリニックを実施し、各地域から派遣された審判員を通じ全国への周知を図った。

- A級公認審判員認定講習会

年間を通じて実施（レポート・実技）	受験者 6名	合格者 2名
-------------------	--------	--------

- B級公認審判員認定講習会（ブロック主催）

開催ブロック	開催日	開催場所	受験者	合格者
北海道	9/23(土)	北海道立野幌総合運動公園体育館	1	0
東北	10/9(月・祝)	岩沼市立岩沼西小学校（宮城県）	5	1
関東	11/12(日)	太田市藪塚本町社会体育館（群馬県）	10	2
北信越	11/12(日)	中野市民体育館（長野県）	6	2
東海	10/29(日)	木曽岬町体育館（三重県）	9	1
関西	11/19(日)	大阪市立柴島中学校（大阪府）	10	5
中国	9/10(日)	広島県廿日市市立平良小学校（広島県）	10	9
四国	11/19(日)	高知市立横浜小学校体育館（高知県）	5	2
九州	12/23(土)	鹿児島県大崎町総合体育館（鹿児島県）	8	2
計			64名	24名

ブロック間の合格率に非常に大きな差がみられた。単純な比較はできないものの、検定基準に格差が生じている可能性が高いことから、2024年度からは開催ブロック内のみでの判定ではなく、JDBA競技委員長・副委員長を派遣し、改めて合否水準の統一を図ることとした。

なお、A級～C級までを含めた全国の審判員資格取得者数に関しては、4400名を超え、コロナ前の水準以上に増加した。



3. 普及委員会

日本協会によるDA（ドッジアドバイザー）の認定・研修と、全国大会の機会を活用した地元主導の普及事業や、外部からの教室の講師派遣依頼への対応等を幅広く実施した。

- DA活用事業／認定事業／活用事業

次世代の育成を視野に入れ、2022年度より、主にシニア競技者の中から普及意欲の高い人物を、DA（ドッジアドバイザー）として認定する制度を開始している。

2023年度の認定会は中日本のみとなったが、合わせて、2022年度の認定者に対するレベルアップ研修会も実施した。

賞品協賛：ヤマダイ株式会社			
日程	会場	開催主体	参加者数
5/27	岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム	岐阜県協会	70名
※中日本DA認定事業(8名)及びDAレベルアップ研修会(3名)も実施			
9/30	おおきにアリーナ	関西ブロック	26名
10/8	七ヶ浜健康スポーツセンター「アクアリーナ」	東北ブロック	23名
2024/3/30	京都市伏見港公園体育館	関西ブロック	300名

● 全国大会開催機会の活用

毎年、関係者が集まる機会の活用を図るため、全国大会前日に独自のイベントを試みている。

2022年度までの状況から、大会準備と並行する中での役割調整の難しさも見えたことから、2023年度は無理をせず、開催地のブロックや加盟団体の意思をより重視した結果、10月・3月の2か所での実施となった。

日程	会場	開催主体	内容
9/30	おおきにアリーナ	関西ブロック 大阪府協会	地元チームの指導者を対象に、新規選手を集めるためのノウハウの研修
3/30	福岡市総合体育館	九州ブロック 福岡県協会	地元の全国大会コート設営スタッフと関係者を対象としたマルチボール体験会

● 各種ドッジボール教室

加盟協会内の教室事業・全国大会機会の活用に加え、外部団体からの依頼に対してもDAを中心的に積極的に受け入れた。

主な教室（外部団体からの依頼事業から抜粋）

日程	会場	依頼団体・事業名	特徴
10月8日／ 3月20日	大分県立総合 体育館	コナミスポーツ ドッジボール教室	コロナ前から継続実施。2022年度からは開催回数増加の要望を受け、年2回開催。10月48名／60名、3月は午前：親子26組、午後:24名の参加
11/23	エスプラット フジスパーク	キッズクロスス ポーツ	施設所有団体からの派遣依頼を受け、新規に派遣。2024年度もGWに実施決定。

依頼の内容や規模に応じて、開催地の普及委員会での対応を求める等の調整を進めたが、一部の依頼においては、依頼内容がそのまま戻ってしまうケースも生じた。依頼者やその内容も多様化していることから、担当分野に関する横断的な枠組みの検討も必要となった。



4. 指導委員会

JSPの指導者資格制度に沿って、全ての競技チームへA級指導員(JSPドッジボールコーチ1)資格者を配置できるよう、段階的な制度設計を進め、各種講習会の整備を継続している。

2023年度の競技会においては、2022年度に続き、全競技カテゴリーの予選と全国大会にて、ベンチ入りチーム役員全員有資格者且つ1名以上のB級指導員を必須とした。

当初の計画に沿って、2024年度からはA級指導員取得者が必須となるが、3月末時点の人数は605名に達し、順調に増加している。（2024年4月に+342名取得見込み）

- B級公認指導員養成講習会※ブロック主催

資格取得者の拡大に伴い、2021年度以降は、JDBAではなく各ブロック指導部の主催にて進めている。2022年度は一時的に駆け込みの取得者が増加したが、2023年度も300名弱のB級指導員を養成し、全体では1250名以上の取得者数を保っている。

- 更新講習会

日程	会場	講師	受講者
12/17	梅田B1レンタルスペース貸会議室(大阪府大 阪市)	小池修司先生(弁護士) 田原直弥先生(日本スポーツコーチング協会・ス ポーツコミュニケーションアドバイザー&コーチ)	36名

指導者への継続的な学習の機会として、B級・C級指導員を対象として4年に1回以上の更新講習会の受講を必須としている。

これまで全国大会等の機会利用として行っていたが、2023年度は単独の事業として実施し36名の受講があった。

一部において地元での開催・受講が難しいとの声も受けたため、内容を一部編集した上で、2024年度はオンデマンド配信も予定している。



5. 国際委員会

- 2024 Asian Dodgeball Championship Riyadh 代表選手選考会・選手団派遣

2022年度の世界大会に続き、マルチボール種目のアジア予選へ日本選手団を派遣した。

大会スケジュールがなかなか決まらず、JAぎふの協力の下、JAぎふアグリパーク(岐阜県岐阜市)での11月12~13日の最終合宿を経て、12月13日深夜にカイロに向けて出発した。

概要	
2023年度ドッジボール日本代表(マルチボール)選考会	
日 程	2023年7月9日(日)9:30~16:30
会 場	佐野市立城北小学校体育館(栃木県佐野市)他、近隣施設
	男子:17名(33名中)、女子10名(15名中)を選出
2024 Asian Dodgeball Championship Riyadh 遠征	
日 時	2024年1月19日~26日※成田発着日
会 場	The Green Halls(サウジアラビア/リヤド)
選手団	選手27名 役員・スタッフ11名 審判員 1名
参加国・地域	日本、香港、マレーシア、韓国、サウジアラビア、オーストラリア、パキスタン、インド
成績	Womenカテゴリー優勝/Menカテゴリー準優勝/Mixカテゴリー第三位

大会においては、女子カテゴリー優勝を筆頭に、参加全カテゴリーにて3位以内入賞と素晴らしい結果を残した。その一方で、世界大会の日程が公表されないなど、2024年度以降の展開に対する不透明さも残した。



● マルチボール体験会・審判員講習会 (スポーツ振興くじ助成事業)

開催日	会場	参加人数
5月27日 ～28日※	岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム ※27日はドッジボール教室及びDA研修会（普及委員会）実施	体験会 78名 審判員講習会 26名

アジア予選の詳細の公表が遅れていた中、候補選手の意識を保ちつつ、国内へのマルチボール種目の認知度の向上に向け、体験会と審判員講習会を開催した。

選手・審判員ともに、適応力が高いことを改めて認識した。2024年度は普及拡大を目指し、複数個所での開催を計画することとした。

6. 倫理委員会

チーム内での暴力・ハラスメント行為防止の意識を高めるため、D-1/D-1G登録チームに対し、前年度のハラスメント行為に関するアンケートの集計結果を配布した。

また、加盟団体内において倫理規程類の整備がなかなか進まないことから、具体的な標準モデルとして標準倫理規程・標準倫理委員会規程を全加盟団体へ展開した。しかしながら依然として通報・相談の件数は減少していないことから、2024年度はより強く整備を促す。

7. (設置準備) アスリート委員会

ガバナンスコードの原則の一つであるアスリートの意見の反映に向け、専門委員会としての設置に向けて委員会規程を策定した。同時に、現状のアスリートの意向や環境を把握するため、登録競技者を対象としたアンケートを行った。

2024年度からは、これらの内容を基に委員の選考を進め、具体的な活動に進むことを確認した。

8. 会議の開催状況

評議員会はいずれもオンライン上で開催した。理事会は対面を基本にしつつも、状況に応じてオンライン形式も併用する等、時間を有効活用するための方法として積極的に取り入れた。

①評議員会

会議名	開催日	主な審議事項
定時評議員会	2023/6/23	2022年度事業報告・収支決算の承認 2023-2024年度理事の承認
臨時評議員会	2024/3/1	2024年度事業計画・収支予算の承認

②理事会

	日程	主な議題
第1回	2023/4/15	春全国大会総括・マルチボールイベント準備 通報相談案件協議、シニアチャンピオンシップ資料確認
第2回	2023/6/10	2022年度事業報告・収支報告承認、標準倫理規程・標準倫理委員会規程確認、マルチボール製作・販売詳細協議
第3回	2023/8/6	リヤド大会派遣メンバー承認、通報相談案件の対応協議、専門委員会委員承認、2024年度以降の全国大会開催地の確認
第4回	2023/10/21	夏小・全日本選手権総括、女子総合選手権準備、更新講習会・コンプライアンス講習会予定協議、アスリート委員会設置協議開始
第5回	2023/12/9	アジア予選状況及び行程の確認、アスリート委員会規程承認、女子総合選手権総括、スポーツ振興くじ助成申請事業検討
第6回	2024/2/17	2024年度事業計画・収支予算承認、広報紙（特集号）内容共有、アジア予選会遠征報告、通報・相談案件対応

9. 他（委員会単位ではない事業／他団体への派遣事業等）

❖ 中央スポーツ団体ガバナンスコード

中央スポーツ団体ガバナンスコードへの適合状況に関して自己説明書類を作成・公表した。全ての原則の達成に向け、引き続き整備強化を進める。

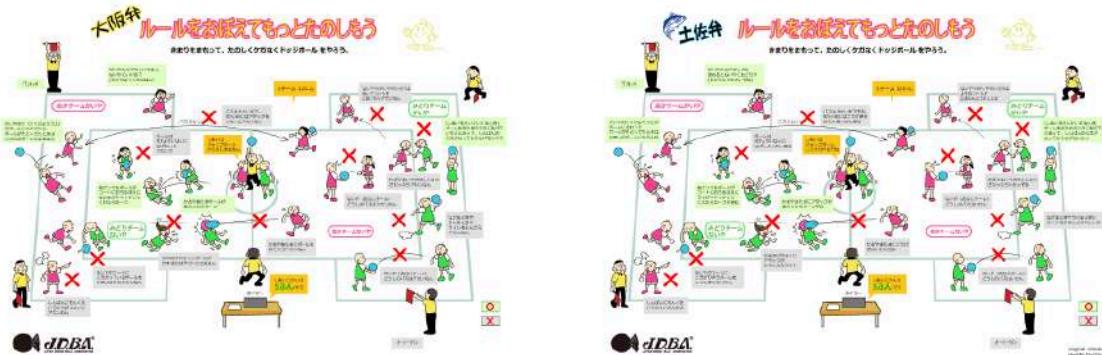
❖ 広報紙作成・発行（総務・広報）

加盟協会内外に向けた広報紙を製作し、会員・スポンサー等へ発送した。2022年度に続き、本紙に加えて、アジア予選リヤド大会遠征の模様と成果を報告する特集号も発行した。



❖ 簡易ルール表（方言バージョン）

2022年度に制作した小学生向けのイラスト付ルール表に、使用者からの意見を反映して、低学年・幼児対象のひらがな版、及び方言バージョンとして大阪版・土佐版を加えた。



❖ スミセイアフタースクールプロジェクト

（主催 住友生命相互保険相互会社・NPO法人放課後アフタースクール）

2023年10月6日	千葉市立朝日ヶ丘小学校アフタースクール(千葉県千葉市)	40名
2023年11月12日	放課後児童クラブ遊友クラブ(三重県亀山市)	16名
2024年3月1日	南部町立法勝寺児童館(鳥取県西伯郡)	42名

第 15 期

計 算 書 類

2023年4月 1日から
2024年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

貸借対照表

2024年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	57, 566, 219	58, 069, 867	△ 503, 648
商品	2, 620, 119	978, 097	1, 642, 022
前渡金	161, 493	31, 630	129, 863
立替金	3, 000	0	3, 000
未収入金	11, 314, 835	8, 712, 905	2, 601, 930
流動資産合計	71, 665, 666	67, 792, 499	3, 873, 167
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
工具器具備品	1	1	0
ソフトウェア	0	82, 500	△ 82, 500
保証金	414, 000	414, 000	0
その他固定資産合計	414, 001	496, 501	△ 82, 500
固定資産合計	414, 001	496, 501	△ 82, 500
資産合計	72, 079, 667	68, 289, 000	3, 790, 667
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7, 258, 105	3, 853, 618	3, 404, 487
前受金	1, 728, 000	1, 479, 000	249, 000
預り金	109, 894	70, 630	39, 264
未払法人税等	70, 000	70, 000	0
未払消費税	210, 800	506, 300	△ 295, 500
流動負債合計	9, 376, 799	5, 979, 548	3, 397, 251
負債合計	9, 376, 799	5, 979, 548	3, 397, 251
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	62, 702, 868	62, 309, 452	393, 416
正味財産合計	62, 702, 868	62, 309, 452	393, 416
負債及び正味財産合計	72, 079, 667	68, 289, 000	3, 790, 667

損益計算書(正味財産増減計算書)

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
事業収益	24,905,465	15,253,202	9,652,263
登録料収益	3,786,000	3,708,000	78,000
チーム登録料収益			
受取会費			
協会員受取会費	43,497,000	38,611,500	4,885,500
役員等受取会費	660,000	610,000	50,000
加盟協会料収益			
加盟協会料収益	2,350,000	2,350,000	0
スポーツ料収益			
スポーツ料収益	5,660,000	5,455,000	205,000
販売収益			
販売収益	12,348,242	11,413,279	934,963
検定料収益			
公認球検定料収益	3,294,852	2,000,922	1,293,930
手数料収益			
手数料収益	1,923,200	1,497,226	425,974
受取補助金等			
受取助成金	6,103,400	8,582,137	△ 2,478,737
雑収益			
雑収益	399,779	245,981	153,798
経常収益計	104,927,938	89,727,247	15,200,691
(2) 経常費用			
事業費			
謝金	844,500	629,263	215,237
旅費交通費	20,175,752	16,177,800	3,997,952
宿泊費	8,795,242	5,739,123	3,056,119
事業支援費	21,180,800	19,938,000	1,242,800
賃借リース料	3,240,612	1,397,223	1,843,389
制作費	4,445,989	4,643,331	△ 197,342
用具費	5,509,695	3,944,023	1,565,672
通信運搬費	2,828,724	1,935,386	893,338
印刷製本費	4,990,028	2,732,084	2,257,944
事業消耗品費	5,052,370	6,816,969	△ 1,764,599
事業雑費	1,740,361	1,467,349	273,012
管理費			
給与手当	9,726,929	9,032,304	694,625
通勤費	471,002	374,480	96,522
法定福利費	1,747,233	1,466,975	280,258
福利厚生費	33,870	31,500	2,370
賃借料	3,807,440	3,753,872	53,568
リース料	250,800	250,800	0
旅費交通費	1,761,190	933,723	827,467
通信費	913,823	753,716	160,107
運賃	1,575,164	1,052,970	522,194
消耗品費	464,824	283,651	181,173
顧問料	2,370,000	720,000	1,650,000
業務委託費	399,850	454,300	△ 54,450
会議費	73,860	65,133	8,727
接待交際費	25,580	39,724	△ 14,144
水道光熱費	252,775	376,100	△ 123,325
諸会費	467,375	656,510	△ 189,135
租税公課	740,050	1,021,200	△ 281,150
支払助成金	60,000	280,000	△ 220,000
減価償却費	82,500	90,000	△ 7,500
雑費	436,184	537,173	△ 100,989
経常費用計	104,464,522	87,594,682	16,869,840
当期経常増減額	463,416	2,132,565	△ 1,669,149
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	463,416	2,132,565	△ 1,669,149
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	393,416	2,062,565	△ 1,669,149
一般正味財産期首残高	62,309,452	60,246,887	2,062,565
一般正味財産期末残高	62,702,868	62,309,452	393,416
II 正味財産期末残高	62,702,868	62,309,452	393,416

財務諸表に対する注記(附属明細書)

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品……最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産……建物・建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法
無形固定資産……定額法
- (3) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式で計上している。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	10,011,600	10,011,599	1
ソフトウェア	450,000	450,000	0
合 計	10,461,600	10,461,599	1

3. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	B S 上の 記載区分
補助金・助成金						
2022年度ジュニア育成助成金	ミズノ財団	0	1,000,000	1,000,000	0	—
岐阜観光コンベンション助成金	岐阜観光協会	0	113,400	113,400	0	—
スポーツ振興基くじ助成金	t o t o	0	620,000	620,000	0	—
スポーツ普及奨励助成金	スポ安	0	370,000	370,000	0	—
加盟団体助成金	日レク	0	100,000	100,000	0	—
全国大会助成金	M D B A	0	1,000,000	1,000,000	0	—
金沢文化スポーツ事業助成金	金沢文化スポーツ	0	500,000	500,000	0	—
スポーツ振興基金助成金	スポーツ振興	0	2,400,000	2,400,000	0	—
合 計		0	6,103,400	6,103,400	0	

財産目録

2024年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
現金手許有高	92,517
普通預金 みずほ銀行神谷町支店	1,337,845
普通預金 みずほ銀行神谷町支店(賛助会員)	63,395
普通預金 みずほ銀行神谷町支店(振興くじ)	893,381
普通預金 みずほ銀行神谷町支店(JKA)	41,228
普通預金 みずほ銀行神谷町支店(スポーツ振興)	3,194,040
郵便振替 東京貯金事務センター(審判)	43,531,052
郵便振替 東京貯金事務センター(積立金)	10,729
郵便振替 東京貯金事務センター(サポーター)	68,390
郵便振替 東京貯金事務センター(祝賀会)	68,063
郵便振替 東京貯金事務センター	8,265,579
商品 ルールブック、賞状、マルチボール他	2,620,119
前渡金 事務局更新料	161,493
立替金 奨励金分	3,000
未収入金 スポーツ振興助成金他	11,314,835
流動資産合計	71,665,666
2. 固定資産	
(1) その他固定資産	
工具器具備品 大会用コート	1
保証金 事務局	414,000
その他固定資産合計	414,001
固定資産合計	414,001
資産合計	72,079,667
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金 事務局経費、春大会分他	7,258,105
前受金 2024年度会費	1,728,000
預り金 源泉税他	109,894
未払法人税等	70,000
未払消費税	210,800
流動負債合計	9,376,799
負債合計	9,376,799
正味財産	62,702,868

貸借対照表総括表

2024年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	57,566,219	0	0	57,566,219
商品	2,620,119	0	0	2,620,119
立替金	3,000	0	0	3,000
前渡金	161,493	0	0	161,493
未収入金	7,541,855	3,772,980	0	11,314,835
流動資産合計	67,892,686	3,772,980	0	71,665,666
2. 固定資産				
(1) その他固定資産				
工具器具備品	0	1	0	1
保証金	414,000	0	0	414,000
その他固定資産合計	414,000	1	0	414,001
固定資産合計	414,000	1	0	414,001
資産合計	68,306,686	3,772,981	0	72,079,667
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	1,694,209	5,563,896	0	7,258,105
前受金	1,728,000	0	0	1,728,000
預り金	102,747	7,147	0	109,894
未払法人税等	70,000	0	0	70,000
未払消費税	210,800	0	0	210,800
元入金	△ 41,648,452	28,866,890	12,781,562	0
流動負債合計	△ 37,842,696	34,437,933	12,781,562	9,376,799
負債合計	△ 37,842,696	34,437,933	12,781,562	9,376,799
III 正味財産の部				
1. 一般正味財産	106,149,382	△ 30,664,952	△ 12,781,562	62,702,868
正味財産合計	106,149,382	△ 30,664,952	△ 12,781,562	62,702,868
負債及び正味財産合計	68,306,686	3,772,981	0	72,079,667

損益計算書（正味財産増減計算書）総括表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益				
事業収益	15,333,070	9,178,095	394,300	24,905,465
登録料収益	3,786,000	0	0	3,786,000
チーム登録料収益	43,497,000	0	0	43,497,000
受取会費				
協会員受取会費	660,000	0	0	660,000
役員等受取会費				
加盟協会料収益				
加盟協会料収益	2,350,000	0	0	2,350,000
スポンサー料収益				
スポンサー料収益	4,505,000	1,155,000	0	5,660,000
販売収益				
販売収益	6,018,092	6,330,150	0	12,348,242
検定料収益				
公認球検定料収益	3,294,852	0	0	3,294,852
手数料収益				
手数料収益	635,842	1,287,358	0	1,923,200
受取補助金等				
受取助成金	113,400	5,270,000	720,000	6,103,400
雑収益				
雑収益	374,779	25,000	0	399,779
経常収益計	80,568,035	23,245,603	1,114,300	104,927,938
(2) 経常費用				
事業費				
謝金	370,500	259,000	215,000	844,500
旅費交通費	14,080,627	5,868,245	226,880	20,175,752
宿泊費	3,255,371	5,300,111	239,760	8,795,242
事業支援費	21,180,800	0	0	21,180,800
賃借リース料	49,398	3,035,464	155,750	3,240,612
制作費	2,004,766	2,441,223	0	4,445,989
用具費	2,130,334	3,232,318	147,043	5,509,695
通信運搬費	867,639	1,948,245	12,840	2,828,724
印刷製本費	3,511,194	1,442,820	36,014	4,990,028
事業消耗品費	1,096,389	3,911,893	44,088	5,052,370
事業雑費	494,032	1,206,082	40,247	1,740,361
管理費				
給与手当	9,726,929	0	0	9,726,929
通勤費	471,002	0	0	471,002
法定福利費	1,747,233	0	0	1,747,233
福利厚生費	33,870	0	0	33,870
賃借料	3,807,440	0	0	3,807,440
リース料	250,800	0	0	250,800
旅費交通費	1,761,190	0	0	1,761,190
通信費	913,823	0	0	913,823
運賃	1,575,164	0	0	1,575,164
消耗品費	464,824	0	0	464,824
顧問料	2,370,000	0	0	2,370,000
業務委託費	399,850	0	0	399,850
会議費	73,860	0	0	73,860
接待交際費	25,580	0	0	25,580
水道光熱費	252,775	0	0	252,775
諸会費	467,375	0	0	467,375
租税公課	740,050	0	0	740,050
支払助成金	60,000	0	0	60,000
減価償却費	82,500	0	0	82,500
雑費	436,184	0	0	436,184
経常費用計	74,701,499	28,645,401	1,117,622	104,464,522
当期経常増減額	5,866,536	△ 5,399,798	△ 3,322	463,416
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	5,866,536	△ 5,399,798	△ 3,322	463,416
税引前当期一般正味財産増減額	5,866,536	△ 5,399,798	△ 3,322	463,416
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	5,796,536	△ 5,399,798	△ 3,322	393,416
一般正味財産期首残高	100,352,846	△ 25,265,154	△ 12,778,240	62,309,452
一般正味財産期末残高	106,149,382	△ 30,664,952	△ 12,781,562	62,702,868
II 正味財産期末残高	106,149,382	△ 30,664,952	△ 12,781,562	62,702,868

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会

評議員・理事 各位

2024年 6月 15日

一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 畑 敬

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2023年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2024年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会
評議員・理事 各位

2024年 6月 15日
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 山田 亮

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2023年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2024年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上